

## 平成24年度財団法人富山勤労総合福祉センター事業計画

### 1 運営方針

世界的な経済危機や東日本大震災の影響等により、低迷する日本経済は回復の兆しも見えない状況である。

このことから、当財団を取り巻く経営環境は今後とも一段と厳しい状況が予想されるため、各施設においては独立採算制を基本に、徹底したコストの削減を行う一方、それぞれの施設の特色を生かした魅力ある事業の展開や真心のこもったサービスを提供し集客の向上に努めている。

また、公益法人制度改革の対応については、現在、平成25年4月1日の一般財団法人への移行を目指して諸準備を進めているところである。

#### (1) 呉羽ハイツ

地元の皆様を始め、多くの方々にご利用して頂き、開館40周年を迎えることとなった。

従前にも増して厳しい経営環境が見込まれるが、40年の経験を活かし、更に「行ってみたい、来て良かった」と思われる施設になるよう

- ① 魅力ある施設環境を盛り込んだ特色ある企画作り
- ② 地元の新鮮素材を活かしたおいしい料理の提供
- ③ 「おもてなしの心」を基本とした質の高い接客サービスの提供
- ④ 見て、感じてもらえる宣伝広告の実施

等を行う。

#### (2) とやま自遊館

平成23年度に策定した「とやま自遊館経営改善計画」をもとに、引き続き売上の増と経費の節減に努める。

特に、24年度は開業15周年を迎える年であり、さまざまな企画を通じて一層の経営改善に取り組むこととしている。

また、リフレッシュプラザにおいては、引き続き勤労者をはじめとする県民の健康増進のための事業等に取り組む。

さらに、「ヤングジョブとやま」については、若者の就業支援に係る企画運営業務を引き続き国及び県から受託し、若者の雇用確保に積極的に取り組む。

新たに、県が設置予定の「とやまシニア専門人材バンク」に係る企画運営業務を受託し、高齢者の就業支援等を行う。

## 2 重点実施事項

### (1) 呉羽ハイツ

#### ① 利用率の向上

ア. 県内の新鮮食材を活用した季節ごとの特色ある料理企画を実施するとともに引き続き好評な法要会食に力を注ぎ誘客に努める

イ. 平日対策として各種企画の実施

1) 老人会、企業研修等を対象とした平日企画や入浴、休憩、お食事をセットにした日帰りプランを引き続き実施する

2) レディースプランとして、限定メニュー企画（女子会プラン）を実施し、女性客の誘客を図る

ウ. テレビ、新聞を中心とした視覚広告の実施

各企画ごとに「ハイカラに休もう。」（ハイツカラー）をテーマとした広告を実施し施設のイメージアップを図る

エ. 渉外活動の強化

渉外活動において地区ごとの担当者を選任し、積極的な誘客を図り利用率を高める

#### ② 利用者へのサービスの向上

ア. 地元の新鮮食材（ハヶ山野菜・呉羽梨・池多りんご等）を使った特色ある料理を研究し、提供することで地産地消を推進する

イ. 館内の共有スペース（渡り廊下等）を特設ギャラリーとして利用して頂き、各種サークルの展示会を開催する

ウ. 年末・年始の営業にあたり、利用客参加型の各種イベントの実施

エ. 各種職員研修を実施し、サービスの向上を図る

### (2) とやま自遊館

#### ① 利用増に向けた誘客・広報活動

ア 開業15周年を迎え、職員全員が営業マンとなった誘客活動を実施する。

イ 景気の影響が少ない祝事、法要宴会等の受注に努める。特に法要については今後の受注拡大の余地が見込まれることからセールスを強化する。

ウ 昨年度に引き続きプレミアム商品券を販売し売上を確保する。

エ 和食、和洋折衷料理による近隣洋食店との差別化を図る。

オ 週末に比べ利用の少ない月～木曜日の誘客策として、お得なプランを企画・提供することにより利用増を図る。

カ インターネット宿泊予約やツアー会社とのタイアップを推進し客室稼働率の向上に努める。

キ 会議・宴会の受注増を図るため、営業スペースを拡大する。

ク 新聞、ラジオ、専門雑誌等の媒体を利用した広報活動やチラシの頒布を引き続き

実施する。

② おもてなしの心が実感できるサービスの提供

- ア 職員研修等を通じ、お客様本位のサービスに徹する職員意識の高揚を図る。
- イ これまでのご愛顧に感謝して、開業15周年を記念した魅力的な特別企画を一年を通して提供していく。
- ウ 富山の食材を使った越中料理など、お客様のニーズに合った和洋の多彩なメニューを企画・提供する。
- エ シーズン割引プラン、宴会付割引プランなど利用しやすい宿泊プランを提供する。
- オ 安全・安心を最優先とした施設の管理運営に努める。
- カ 県内著名作家による絵画・書の作品展等を開催する。

③ 健康増進に係る事業の実施

- ア 勤労者等の福祉の向上と健康の増進を図るため、安全で安心な健康づくりの場を提供するとともに、様々な健康増進プログラムを提供する。
- イ 水中運動等プールを活用したプログラム（子ども水泳教室、腰・膝痛緩和運動等）等の実施など、少年期の体力づくりや高齢者の運動実践等のきっかけ作りのための取り組みを行う。
- ウ 県内医療機関と連携した健康づくりサポート（運動療法、メディカルフィットネス、リハビリ支援等）を実施するとともに、生活習慣病の防止・改善や介護予防等を目的とした運動プログラムの提供を行う。
- エ 指定運動療法施設としてのメリットを生かした事業を展開し、新たな利用者ニーズの掘り起こしを図る。

④ 経営改善への取り組み

- ア 23年度の経営改善の実績を踏まえ、経営改善計画のローリングを行う。
- イ 経営改善計画を着実に実行し、しっかりとした進行管理を行う。

⑤ 職業教育、職業相談等の提供

ア ヤングジョブとやま

若者の就職に関する情報提供やカウンセリング、セミナー、トレーニング、職場見学、職場体験等を行う。

イ とやまシニア専門人材バンク

就労を希望する専門的知識・技術等を有する高齢者を対象とする人材バンクを設置し、高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援する。

### 3 利用人員等目標

#### (1) 呉羽ハイツ

平成 24 年度は、利用人員 148,450 人（前年目標対比 99.9%）、営業収入 7 億 1,530 万円（前年目標対比 97.8%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 24 年度 目標人員 a	平成 23 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	16,200	16,300 (15,800)	▲100
宿 泊	24,300	25,100 (23,300)	▲800
宴 会	47,450	47,950 (45,700)	▲500
休 憩	19,900	17,150 (18,800)	2,750
レストラン	12,000	12,000 (11,500)	0
喫茶・売店	24,500	25,900 (24,200)	▲1,400
そ の 他	4,100	4,200 (4,000)	▲100
合 計	148,450	148,600 (143,300)	▲150

#### (2) とやま自遊館

平成 24 年度は、利用人員 326,500 人（前年目標対比 99.2%）、営業収入 7 億 0,901 万円（前年目標対比 98.4%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 24 年度 目標人員 a	平成 23 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	12,700	13,500 (11,700)	▲800
宿 泊	9,800	10,000 (8,800)	▲200
宴 会	28,000	26,000 (27,400)	2,000
レストラン	87,000	87,200 (84,200)	▲200
ホ ー ル	48,000	49,000 (46,000)	▲1,000
リフレッシュラザ	116,500	116,300 (116,000)	200
ツグツグとやま	20,000	17,000 (20,300)	3,000
非正規労働者ツグ	—	9,000 (10,400)	▲9,000
シニア人材バンク	3,000	— ( — )	3,000
そ の 他	1,500	1,200 (1,600)	300
合 計	326,500	329,200 (326,400)	▲2,700